

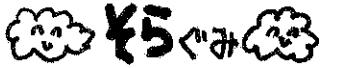
かせ ぐみ

そう・たいよう



5かづ

おたより



5月は他のクラスと交流する機会がたくさんありました。かせ組の年齢全員が「幼児期」とあって、まだ「まだ葉っぱい」とたくさん!お普段の交流では、自分がより小さい友だちに対して、「自転車や車、危ないところに行かないように守ってあげなさい」と声を掛けています。しかし、さつく手を引ひき取ってしまったり、手を手で替えることを忘れてしまったり...などもありますが、お世話をあわるには大きさ!「やってあげたい!」の気持ちを大切にしながら、力加減や声の掛けなど失礼ついでにする時もあっています。その反面、大きい友だとの交流では、全力の甘えめです。リュックの月毎ベルトのチャックを外してもらったり、「一緒に遊びたい」とアピールしたり、臨機応変する子どもたちに驚きます。

～初めてがいい～

クリキンがお弁当を持って園外保育、初めてのことがたくさんでした。クリキンでは、(うねん草や)エキを小さくお手伝いしてもらいました。(うねん草の茎の部分には繊維がたくさん!上手に切られてなくて、お味噌汁が出来上がりみんなで食べると「めっちゃ長いのあるー!」なんてこともあります)が、楽しく活動できました。待ち時間はおしゃべりタイム!ここで姿も子どもとして初めてのクリキンは大きめでした。

そして先日の園外保育では、円町公園と鹿垣公園に行きました。「今日は2歳公園行くんだよ!」と伝えると、「やつめ!」

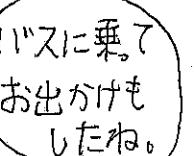
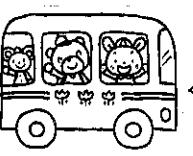
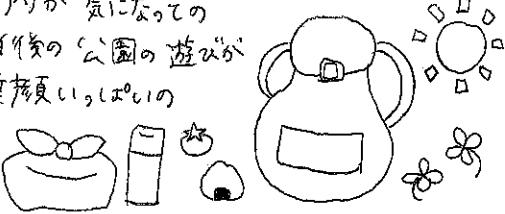
「なんでもう行くの?」と大盛り上がりです。円町公園では、すべり台やブランコ、しゃりとりゲームなどを挑戦しました。鹿垣公園では、お待ちかねのお弁当!しかし、腹が強くて泣いていてシートは引きにくくて、シートが入っていた袋が飛んでしまった!大パニック!やつのことで「いたたきます」をすると、

今度はアリさんがシートに乗ってきて気になってしまふがないかせ組でした。風とアリが気になつての

お弁当でしたが、お弁当後の公園の遊びが

喜んで、最後は笑顔いっぱいの

子どもたちでした。



慣れない環境にワクワクドキドキしていた4月でしたが、心にも余裕ができ、周りに目を向けられるようになった5月です。そのためか、おうちの方と一緒に離れにくかったり、本来の『じぶん』を出せるようになり、思い通りにならなくて涙する姿も見られるようになりました。しかし、4月に涙していた子どもは、徐々に保育者との関係が深まり、安心してもいい場所だと感じて涙が減り、笑顔も見られるようになりました。嬉しい思っています。自然な姿で笑顔で過ごせるよう見守りたいと思います。



ア栽培

子どもたちと一緒に野菜の苗と花の種を買に行きました。4月から子どもたちと相談していた結果、どうもろこしきゅうりを栽培することになりました。ホームセンターまで行き、色々な野菜の苗を見て、「これ、まろりゅう?」「これなんや?」と興味を持て見ていました。

翌日、屋上に行き、苗を植えました。「これがどうもろこしで、こちがきゅうりね」とこれはスバルースイートコーンでなまえで...と話しながら植えていると、「へー、これは?」とワクワクした様子で聞いていました。

そして苗を植えた後は、花の種まきです。

ひとりの鉢を用意して、シートに広げた土を、手で鉢に入れ、少しづつ手渡した種をハラハラと蒔いて、さらに上から土の布団をかけます。野菜にも花の種にも水やりをしました。それから毎日(雨の日以外)、おやつ後には水やりを行っています。野菜の変化は、まだ目で見てわかるほどではない日時でも、花は数日するとかわいい苔葉の芽が出ていて、「せんせりはっぱがでてる!」

「ほらみこえ!」と知らせていきました。

水やりは、ジョーロは使わないので、浅いパッケージを使っています。今はまだ、水をこぼしながら、ちょっと服を濡らしながらですが、ゆっくり歩いたり、虫や口から入れる水の量を少なくしてみたり、それそれが工夫し、考えながら、水やりをしていました。どんな花が咲くでしょうか。楽しみです。また、野菜も少しづつ大きくなってきています。きゅうりの花が咲き、ちっちゃなきゅうりができました。今から収穫が楽しみです。収穫したきゅうりはどうやって食べようか、子どもたちと相談したりと思います。

✿4歳児…✿

色々な事に興味を持て、何でも、どんなことでも自分でやろうとする4歳児。しかし、うまくできるか分からずから不安に感じたり、やってみたいけどできることにイララしたり、できることでもしながら、成成長が逆戻りしたような行動や大人にとっては困ったと思えるような行動をとってしまうこともあります。4歳半のふしめといわれるもので、とても難しい時期です。しかし、自立心が芽生え始める時期なので、その気持ちを大切に、見守り、行き詰まつたり、方向性を見失つてしまつたら、さりげなくヒントを出し、自分で答えを導きだせるように、また、すぐに大人が手伝つてしまふのではなく、自分で最後までやり遂げ、自信につなげられるようにしていきたいですね。



＜異年齢交流の中で＞

5月は他のクラスの子どもたちと交流をする機会が多く、優しく接し、関わろうとする姿もありました。大人があえて言わなくては自分から教えてあげたり待つてあげたりすることもありました。異年齢だけでなく、同じクラスの友だち同士の気づき合いも見られました。毎日お当番の子どもたちがいますが、「今日〇〇と〇〇がお当番です」と伝えあい、机がまだ拭けていないと「まだここ拭けてないよ」とよく声かけてあります。そろそろうまくいられない子どももいますが、「やってあげようか?」とか「こういう持ち方で」と教えています。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

＜自分のことは自分で＞

普段の生活の中にはまだまだ難しいことがたくさんあります。例えば、そろそろをしぶったり、園外の時には名札をつけていくので、名札の付けはずし、洗たくものの裏返しなど他にもありますが、出来る限り自分で出来るように促しています。もちろん最初からは全てお願いしても子どもたちも分からないので、最初の内は丁寧に伝えています。うまく出来ず「やってほしい」と保育者のところに持つますが、くり返していくことで「出来ない」から「やってみる」に変わってきたなど感じました。1回うまく出来たら嬉しいようで笑顔で報告に来ます。特に名札は針があり刺さると痛いことは分かるので、慎重にゆっくり溝に入れようと今でも頑張っています。出来たことが増え、次第に周囲の友だちにも手伝うという思いが生まれたように思います。うちでも準備やお手伝いが自分から手伝うことが増えてほしいと思います。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

＜園外保育・サッカー＞

今月は園外保育2回とサッカーに1回行きました。園外では双ヶ丘と仁和寺御堂八ヶ所の2つの山を登りました。双ヶ丘は昨年度のたいようぐみと一緒に行ったこともあり、以前よりスマーズに登り降りが出来ました。山頂からの景色を見て「あれは何やろう?」と不思議そうにしたり、次に行く仁和寺が一度見えるので「あれが次に行くところやで」と伝えると「ええー」と驚き、楽しみにしていました。2回目の御堂仁和寺では、双ヶ丘よりさらに上を行きました。お堂が88もあると聞き、「あた、次は何やけ?」と確認しながら登っていました。階段の高さや急勾配もあったので、休みながら進んでいました。一人ひとりのペースも違うので、前の子どもが後ろの子どもに「大丈夫?」と聞きたいくらい姿も印象に残りました。大人でも登るために時間がかかるそうですが、子どもたちは最後まで88ヶ所を回りました。

また今月は初めてサッカーもしました。園長先生にルールを教えてもらい、ボールに慣れる遊びをした後にチームに分れて試合をしました。ボールを積極的に追いかける子どももいれば、追いかけても蹴る瞬間にになるとやめてしまう子どもなど様々な姿がありました。それが「もっとしたかった」「楽しかった」「ちょっと難しかった」など話していました。